

作成日 2014/09/18

改訂日 2018/10/19

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 SRシール NB50
製品コード M090230
供給者の会社名称 サンライズ株式会社
住所 大阪市中央区道修町1-7-1(北浜TNKビル10階)
担当部門 技術開発本部
電話番号 06-6202-7700
FAX番号 06-6202-7900
電子メールアドレス sunrise-ho@sunrise-bg.co.jp
緊急連絡電話番号 06-6202-7700

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康有害性 急性毒性(経口) 区分4
急性毒性(吸入:蒸気) 区分4
皮膚腐食性及び皮膚刺激性 区分2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分2A
生殖毒性 区分1B
環境有害性 水生環境有害性(急性) 区分3
水生環境有害性(長期間) 区分3
上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険有害性情報

危険
H302+H332 飲み込んだり、吸入すると有害
H315 皮膚刺激
H319 強い眼刺激
H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
H412 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き 安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。(P202)
ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。(P261)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
取扱い後はよく眼を洗うこと。(P264)
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。(P271)

応急措置

環境への放出を避けること。(P273)
保護手袋を着用すること。(P280)
保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。(P302+P352)
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)

保管
廃棄

ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。(P308+P313)
 気分が悪い時は、医師に連絡すること。(P312)
 特別な処置が必要である。(P321)
 口をすすぐこと。(P330)
 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。(P332+P313)
 眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。(P337+P313)
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。(P362+P364)
 施錠して保管すること。(P405)
 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法番号	安衛法番号	
酸化カルシウム	1~5%	CaO	—	190	1305-78-8
酸化チタン(4+)	1~5%	TiO2	—	191	13463-67-7
カーボンブラック	1%未満		—	130	1333-86-4
すず及びその化合物	1%未満	非開示	—	322	非開示

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし。

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

多量の水と石鹼で洗うこと。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

水と石鹼で洗うこと。

眼に入った場合

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

直ちに医師に連絡すること。

口をすすぐこと。

5. 火災時の措置

消火剤

粉末消火剤、二酸化炭素、水噴霧、砂、一般の泡消火剤。

周辺火災の種類に応じて適切な消火剤を用いる。

特有の危険有害性

火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。

激しく加熱すると燃焼するものもある。

特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。

作業者は適切な保護具（『8. ばく露防止及び保護措置』の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。

河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

危険でなければ漏れを止める。

蒸気抑制泡は蒸発濃度を低下させるために用いる。

少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。後で廃棄処理する。

二次災害の防止策

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項

眼、皮膚との接触を避けること。

取扱い後はよく手を洗うこと。

飲み込みを避けること。

皮膚との接触を避けること。

ガスの吸入を避けること。

『10. 安定性及び反応性』を参照。

保管

接触回避

衛生対策

安全な保管条件

取扱い後はよく手を洗うこと。

冷所、換気の良い場所で保管すること。

容器を密閉して保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度 (産衛学会)	許容濃度 (ACGIH)
酸化カルシウム	未設定		TWA 2 mg/m ³ , STEL -
酸化チタン (4+)	未設定	【粉塵許容濃度】 (第2種粉塵) 吸入性 粉塵1mg/m ³ 総粉塵 4mg/m ³	TWA 10 mg/m ³ , STEL -
カーボンブラック	未設定	【粉塵許容濃度】 (第2種粉塵) 吸入性 粉塵1mg/m ³ 総粉塵 4mg/m ³	TWA 3 mg/m ³ (I), STEL -
すず及びその化合物	未設定		TWA 0.1 mg/m ³ , STEL 0.2 mg/m ³ (as Sn) (Skin)

設備対策

防爆の電気・換気・照明機器を使用すること。
本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
取扱いについては全体換気装置を設置した場所で行う。
空気中の濃度を制御するには、一般適正換気で十分である。

保護具

呼吸用保護具

換気が不十分な場合には、適当な呼吸器保護具を着用すること。
保護手袋を着用すること。
眼の保護具を着用すること。
保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）。

手の保護具
眼の保護具

顔面用の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

9. 物理的及び化学的性質 外観

臭い

臭いのしきい（閾）値

pH

融点・凝固点

沸点、初留点及び沸騰

範囲

引火点

蒸発速度（酢酸ブチル
= 1）

燃焼性（固体、気体）

燃焼又は爆発範囲

蒸気圧

蒸気密度

比重（密度）

溶解度

n-オクタノール／水分

配係数

自然発火温度

分解温度

粘度（粘性率）

動粘性率

物理的状態
形状
色

固体

ペースト

各色

微臭

データなし

データなし

データなし

データなし

110°C以上

データなし

データなし

データなし

データなし

1.4

データなし

データなし

データなし

データなし

360±100

データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

通常の実験条件においては安定

湿気により自己反応し硬化する。

化学的安定性

指定保存条件下（温度・期日）では安定だが、徐々に反応し増粘する。

危険有害反応可能性

酸、アルカリ、酸化剤、還元剤と反応する可能性がある。

避けるべき条件

通常の使用では問題ない。

混触危険物質

情報なし。

危険有害な分解生成物

燃焼時にNO_x、CO_x、SO_xが発生する可能性がある。

1 1. 有害性情報

急性毒性

類推値
吸入

吸入(蒸気) LC50 17.145 mg/L

混合物の急性毒性推定値が17.145 mg/Lのため急性毒性(吸入:蒸気) - 区分4とした。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

混合物の成分の10X(皮膚腐食性及び皮膚刺激性 - 区分1 + 1A + 1B + 1C)の濃度合計より皮膚腐食性及び皮膚刺激性 - 区分2とした。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

データなし

呼吸器感作性又は皮膚感作性

データなし

生殖細胞変異原性

データなし

発がん性

データなし

生殖毒性

混合物の成分の生殖毒性 - 区分1Bの濃度合計より生殖毒性 - 区分1Bとした。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

データなし

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

データなし

吸引性呼吸器有害性

データなし

1 2. 環境影響情報

水生環境有害性(急性)

混合物の成分の(毒性乗率×100×水生環境有害性(急性) - 区分1) + (10×水生環境有害性(急性) - 区分2) + 水生環境有害性(急性) - 区分3の濃度合計より水生環境有害性(急性) - 区分3とした。

水生環境有害性(長期間)

混合物の成分の(毒性乗率×100×水生環境有害性(長期間) - 区分1) + (10×水生環境有害性(長期間) - 区分2) + 水生環境有害性(長期間) - 区分3の濃度合計より水生環境有害性(長期間) - 区分3とした。

生態毒性

情報なし。

オゾン層への有害性

データなし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可をうけた、産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

未硬化物は廃プラスチック類に分類される(管理型産業廃棄物)。

硬化物は廃プラスチック類に分類される(安定型産業廃棄物)。

汚染容器及び包装

空容器類を廃棄するときは、内容物を完全に除去した後に産業廃棄物として処理または回収にまわす。()に管理型・安定型の区分を示す。

外箱、紙管など紙製容器・包装: 回収又は紙くずとして処理(単体で管理型産業廃棄物、付着成分がある場合も管理型産業廃棄物)。

金属缶、金属ドラム、金属チューブ類: 金属くずとして処理(単独で安定型産業廃棄物、付着成分がある場合はその安定型・管理型分類に従う)。

ガラス容器: ガラスくずとして処理(単独で安定型産業廃棄物、付着成分がある場合はその安定型・管理型分類に従う)。

プラスチック製のボトル、チューブ、袋など：
廃プラスチックとして処理（単独で安定型産業
廃棄物、付着成分がある場合はその安定型・管
理型分類に従う）。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報 該当しない。
Marine Pollutant Not Applicable
Transport in bulk Not Applicable
according to
MARPOL

国内規制

73/78, Annex
II, and the IBC
航空規制情報 該当しない。
陸上規制情報 該当しない。
海上規制情報 該当しない。
海洋汚染物質 非該当
MARPOL 73/78 附属 非該当
書II 及びIBC コー

緊急時応急措置指針番号

ドによるばら積み
輸送される液体物
質
航空規制情報 該当しない。
なし

15. 適用法令

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第5
7条第1項、施行令第18条第1号、第2号別
表第9）

酸化カルシウム 政令番号：190

酸化チタン（IV） 政令番号：191

名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第5
7条の2、施行令第18条の2第1号、第2号
別表第9）

カーボンブラック 政令番号：130

酸化カルシウム 政令番号：190

酸化チタン（IV） 政令番号：191

すず及びその化合物 政令番号：322

16. その他の情報

連絡先

参考文献

『1. 化学物質等及び会社情報』に記載。

JIS Z 7253-2012 GHSに基づく化
学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル, 作
業場内の表示及び安全データシート (SDS)

経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス

(平成25年度版)

JIS Z 7252-2014 GHSに基づく科
学物質等の分類方法

社団法人 日本化学工業協会 GHS対応ガイド
ライン (2012年7月)

日本ケミカルデータベース (株) MSDS作成シス
テム「MSDSnavi」により作成。

その他

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないの
で、取扱いには十分注意して下さい。

以前にお渡しした本製品の製品安全データシ
ートをお持ちの方は破棄して下さい。

法改正や製品の改良によりSDSを改訂する場
合がありますので、作成・改訂日が2年以上たっ
ている場合は最新版であるかどうかご確認下さ
い。

作成日 2013/11/01
改訂日 2018/01/01

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 1液変成シリコーンLM専用プライマー
整理番号 M090098
供給者の会社名称 サンライズ株式会社
住所 大阪市中央区道修町1-7-1（北浜TNKビル10階）
担当部門 技術開発本部
電話番号 06-6202-7700
FAX番号 06-6202-7900
電子メールアドレス sunrise-ho@sunrise-bg.co.jp
緊急連絡電話番号 06-6202-7700
推奨用途及び使用上の制限 変成シリコーン系シーリング材専用プライマー

2. 危険有害性の要約 GHS分類

物理化学的危険性 引火性液体 区分2
健康有害性 急性毒性（吸入：蒸気） 区分4
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分2B
生殖毒性 区分1B
特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分2（呼吸器 視覚器 全身毒性 中枢神経系）
特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分3（麻酔作用 気道刺激性）
特定標的臓器毒性（反復ばく露） 区分2（視覚器 中枢神経系）
環境有害性 水生環境有害性（急性） 区分3
上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険有害性情報

危険
H225 引火性の高い液体及び蒸気
H320 眼刺激
H332 吸入すると有害
H335 呼吸器への刺激のおそれ
H336 眠気又はめまいのおそれ
H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
H371 呼吸器、視覚器、全身毒性、中枢神経系の障害のおそれ
H373 長期にわたる、又は反復ばく露による視覚器、中枢神経系の障害のおそれ
H402 水生生物に有害

注意書き 安全対策

使用前に取扱説明書入手すること。(P201)
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。(P202)
熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。(P210)
容器を密閉しておくこと。(P233)
容器を接地すること。アースをとること。
防爆型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用すること。(P241)
火花を発生させない工具を使用すること。(P242)
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

<p>応急措置</p> <p>保管</p> <p>廃棄</p>	<p>ガスの吸入を避けること。(P261) ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。(P261) 粉じん、ヒュームの吸入を避けること。(P261) 取扱い後はよく手を洗うこと。(P264) 取扱い後はよく眼を洗うこと。(P264) この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(P270) 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。(P273) 環境への放出を避けること。(P273) 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280) 保護手袋を着用すること。(P280) 皮膚又は髪に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ又は取り除くこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340) 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338) ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。(P308+P313) 気分が悪い時は、医師に連絡すること。(P312) 気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。(P314) 眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。(P337+P313) 火災の場合には、適切な消火剤を使用すること。(P370+P378) 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。(P403+P233) 換気の良い冷所で保管すること。(P403+P235) 施錠して保管すること。(P405) 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)</p>
---------------------------------	---

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法番号	安衛法番号	
酢酸エチル	25～35%	CH3COOC2H5	(2)-726		141-78-6
酢酸ブチル	30～40%	CH3COOCH2CH2CH3	(2)-731	2-(6)-226	123-86-4
メタノール	1～5%	CH3OH	(2)-201		67-56-1
メタクリル酸メチル	1%未満	C5H8O2	(2)-1036		80-62-6
アクリル酸ブチル	1%未満		(2)-989		141-32-2

分類に寄与する不純物及び安定化添加物 情報なし。

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。

皮膚に付着した場合

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受ける直ちに汚染された衣類をすべて脱ぎ、皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。
 水と石鹼で洗うこと。
 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚を速やかに洗浄すること。
 医師の診断、手当てを受けること。
 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受ける
 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタク
 トレンズを着用していて容易に外せる場合は外
 すこと。その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当て
 を受けること。
 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
 口をすすぐこと。
 医師の診断、手当てを受けること。
 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受ける。

眼に入った場合

飲み込んだ場合

5. 火災時の措置
 消火剤

小火災：粉末消火剤、二酸化炭素、散水、一般の
 大火災：散水、噴霧水、一般の泡消火剤。

6. 漏出時の措置
 封じ込め及び浄化の方法及び機材

危険でなければ漏れを止める。

7. 取扱い及び保管上の注意
 取扱い

技術的対策

安全取扱注意事項

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策
 を行い、保護具を着用する。
 使用前に使用説明書を入手すること。
 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わない
 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止す
 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引き
 ずるなどの取扱いをしてはならない。
 取扱い後はよく手を洗うこと。
 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
 ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
 空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気
 用の換気を行うこと。
 排気用の換気を行うこと。
 接触、吸入又は飲み込まないこと。
 環境への放出を避けること。
 『10. 安定性及び反応性』を参照。
 取扱い後はよく手を洗うこと。
 保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はり
 保管場所は屋根を不燃材料で作るとともに、金属
 保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透し
 保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とする
 保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うため
 に必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
 熱、火花、裸火のような着火源から離して保管す
 ること。禁煙。
 5～35℃の冷暗所、換気の良い場所で保管すること
 酸化剤から離して保管する。
 容器は直射日光や火気を避けること。
 容器を密閉して換気の良い冷所で保管すること。
 施錠して保管すること。
 安全な容器包装材料 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を
 使用する。

接触回避
 衛生対策

安全な保管条件

保管

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度 (産衛学会)	許容濃度 (ACGIH)
酢酸エチル	200ppm	200ppm(720mg/m ³)	TWA 400 ppm, STEL -
酢酸ブチル	150ppm	100ppm(475mg/m ³)	TWA 50 ppm, STEL 150
メタノール	200ppm	200ppm(260mg/m ³) (皮)	TWA 200 ppm, STEL 250 ppm (Skin)
メタクリル酸メチル	未設定	2ppm(8.3mg/m ³)	TWA 50 ppm, STEL 100
アクリル酸ブチル	未設定		TWA 2 ppm, STEL -

設備対策

防爆の電気・換気・照明機器を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
高熱取扱いで、工程で蒸気、ヒューム、ミストが発生するときは、空気汚染物質を管理濃度・許容濃度以下に保つために換気装置を設置す
高熱取扱いで、工程でガスが発生するときは、空気汚染物質を管理濃度・許容濃度以下に保つために換気装置を設置する。
高熱取扱いで、工程で蒸気、ヒューム、ミストが発生するときは、換気装置を設置する。
高熱取扱いで、工程でガスが発生するときは換気装置を設置する。
取扱いについては全体換気装置を設置した場所で行う。
空気中の濃度を制御するには、一般適正換気で十分である。
必要に応じて個人用呼吸器保護具を使用すること。
適切な呼吸器保護具を着用すること。
保護手袋を着用すること。
眼の保護具を着用すること。
保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）。
顔面用の保護具を着用すること。
必要に応じて個人用の保護衣、保護面を使用すること。

保護具

呼吸用保護具

手の保護具
眼の保護具

皮膚及び身体の保護具

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态
形状
色

液体
液体
無色透明
有機溶剤臭
データなし
データなし
データなし
65°C(最低初留点採用:メタノール)
-4°C(最低引火点採用)
データなし
データなし
データなし
データなし
0.95
水に不溶、有機溶剤に可溶
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし

臭い

臭いのしきい(閾)値

pH

融点・凝固点

沸点、初留点及び沸騰範囲

引火点

蒸発速度(酢酸ブチル=1)

燃焼性(固体、気体)

燃焼又は爆発範囲

蒸気圧

蒸気密度

比重(密度)

溶解度

n-オクタノール/水分配係数

自然発火温度

分解温度

粘度(粘性率)

動粘性率

10. 安定性及び反応性

反応性

化学的安定性

危険有害反応可能性

情報なし。
常温で安定
酸、アルカリ、酸化剤、還元剤と反応する可能性がある。
通常の使用では問題ない。
情報なし。
燃焼時にNO_x、CO_x、SO_xが発生する可能性がある。

避けるべき条件

混触危険物質

危険有害な分解生成物

1 1. 有害性情報

急性毒性 類推値
吸入

皮膚腐食性及び皮膚刺激性
眼に対する重篤な損傷
性又は眼刺激性

呼吸器感作性又は皮膚感作性
生殖細胞変異原性
発がん性
生殖毒性

特定標的臓器毒性（単
回ばく露）

特定標的臓器毒性（反
復ばく露）

吸引性呼吸器有害性

吸入(蒸気) LC50 11.482 mg/L
混合物の急性毒性推定値から急性毒性（吸入：
蒸気）－区分4とした。

データなし
混合物の成分の眼に対する重篤な損傷性又は眼
刺激性－区分2Bの濃度合計から眼に対する重
篤な損傷性又は眼刺激性－区分2Bとした。

データなし
データなし
データなし
混合物の成分の生殖毒性－区分1Bの濃度から
生殖毒性－区分1Bとした。

混合物の成分の特定標的臓器毒性（単回ばく
露）－区分2（呼吸器）の濃度合計から特定標
的臓器毒性（単回ばく露）－区分2（呼吸器）
混合物の成分の特定標的臓器毒性（単回ばく
露）－区分1（視覚器）の濃度合計から特定標
的臓器毒性（単回ばく露）－区分2（視覚器）

混合物の成分の特定標的臓器毒性（単回ばく
露）－区分1（全身毒性）の濃度合計から特定
標的臓器毒性（単回ばく露）－区分2（全身毒
混合物の成分の特定標的臓器毒性（単回ばく
露）－区分1（中枢神経系）の濃度合計から特
定標的臓器毒性（単回ばく露）－区分2（中枢

混合物の成分の特定標的臓器毒性（単回ばく
露）－区分3（麻酔作用）の濃度合計から特定
標的臓器毒性（単回ばく露）－区分3（麻酔作
混合物の成分の特定標的臓器毒性（単回ばく
露）－区分3（気道刺激性）の濃度合計から特
定標的臓器毒性（単回ばく露）－区分3（気道

混合物の成分の特定標的臓器毒性（反復ばく
露）－区分1（視覚器）の濃度合計から特定標
的臓器毒性（反復ばく露）－区分2（視覚器）
混合物の成分の特定標的臓器毒性（反復ばく
露）－区分1（中枢神経系）の濃度合計から特
定標的臓器毒性（反復ばく露）－区分2（中枢

データなし

1 2. 環境影響情報

水生環境有害性（急性）

水生環境有害性（長期間）
生態毒性
オゾン層への有害性

混合物の成分の（毒性乗率×100×水生環境
有害性（急性）－区分1）＋（10×水生環境
有害性（急性）－区分2）＋水生環境有害性
（急性）－区分3の合計濃度から水生環境有害
性（急性）－区分3とした。

データなし
情報なし。
データなし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の
基準に従うこと。

都道府県知事などの許可をうけた、産業廃棄物
処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を
行っている場合にはそこに委託して処理する。
特別管理産業廃棄物のため、廃棄においては特
に「破棄物の処理及び清掃に関する法律」の特
別管理産業廃棄物処理基準に従うこと。

乾燥物は廃プラスチック類に分類される（安定
型産業廃棄物）。

汚染容器及び包装

空容器類を廃棄するときは、内容物を完全に除去した後に産業廃棄物として処理または回収にまわす。()に管理型・安定型の区分を示す。
 外箱、紙管など紙製容器・包装：回収又は紙くずとして処理（単体で管理型産業廃棄物、付着成分がある場合も管理型産業廃棄物）。
 金属缶、金属ドラム、金属チューブ類：金属くずとして処理（単独で安定型産業廃棄物、付着成分がある場合はその安定型・管理型分類に従う）。
 ガラス容器：ガラスくずとして処理（単独で安定型産業廃棄物、付着成分がある場合はその安定型・管理型分類に従う）。
 プラスチック製のボトル、チューブ、袋など：廃プラスチックとして処理（単独で安定型産業廃棄物、付着成分がある場合はその安定型・管理型分類に従う）。

1 4. 輸送上の注意
国際規制

海上規制情報 I M Oの規定に従う。
 UN No. 1133
 Proper Shipping Name ADHESIVES
 Class 3
 Packing Group II
 Marine Pollutant Not Applicable
 Transport in bulk Not Applicable
 according to MARPOL 73/78, Annex

国内規制

航空規制情報 I C A O / I A T Aの規定に従う。
 UN No. 1133
 Proper Shipping Name ADHESIVES
 Class 3
 Packing Group II
 陸上規制情報 該当しない。
 海上規制情報 船舶安全法の規定に従う。
 国連番号 1133
 品名 接着剤
 国連分類 3
 容器等級 II
 海洋汚染物質 非該当
 MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物 非該当
 航空規制情報 航空法の規定に従う。
 国連番号 1133
 品名 接着剤
 国連分類 3
 等級 II
 緊急時応急措置指針番号 128

1 5. 適用法令
労働安全衛生法

第2種有機溶剤等（施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第4号）
 酢酸エチル
 第2種有機溶剤等（施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第4号）
 酢酸ノルマルブチル
 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別
 酢酸エチル 政令番号：177
 メタノール 政令番号：560

消防法
水質汚濁防止法

船舶安全法
航空法
労働基準法

16. その他の情報

連絡先
参考文献

その他

酢酸ブチル 政令番号：181
危険物・引火性の物（施行令別表第1第4号）
その他の引火点0℃以上30℃未満のもの
メタノール
名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号）
酢酸エチル 政令番号：177
メタノール 政令番号：560
酢酸ブチル 政令番号：181
メタクリル酸メチル 政令番号：557
アクリル酸ノルマルブチル 政令番号：4
第4類 第一石油類（非水溶性）
指定物質（法第2条第4項、施行令第3条の）
酢酸エチル
引火性液体類
引火性液体
感作性を有するもの（法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号、平8労基局長通達、基発第182号）
メタクリル酸メチル
アクリル酸ブチル

『1. 化学物質等及び会社情報』に記載。
JIS Z 7253-2012 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS）
経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス（平成21年3月）
JIS Z 7252-2009 GHSに基づく科学物質等の分類方法
社団法人 日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン（平成20年10月）
日本ケミカルデータベース（株）MSDS作成システム「MSDSnavi」により作成。
危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。
以前にお渡しした本製品の製品安全データシートをお持ちの方は破棄して下さい。
法改正や製品の改良によりSDSを改訂する場合がありますので、作成・改訂日が2年以上たっている場合は最新版であるかどうかご確認下さ